



こだわりの紙面できた

本社「寺子屋」に児童18人

見出しレイアウト工夫



福井新聞社の小中学生向け NIE ことも塾「しんぶん寺子屋」の夏休みシリーズ最終回となる講座が23日、本社プレス21で行われた。児童18人

協力して紙面作りに挑む児童たち。23日、福井新聞社・プレス21

が取材を基に書いた原稿に見出しを付け、レイアウトも工夫して楽しみながら紙面を作り上げた。

今回は福井市のエルパの飲食店や雑貨店を訪ね、店員らにインタビュー。この日は5班に分かれて紙面作りに挑んだ。売れ筋の商品や店のこだわりを紹介する3、4本の原稿のうち、どれをトップ記事にするかを班ごとに相談。見出しの言葉を試行錯誤しながら決めていった。

新聞1面の大きさの台紙に写真を切り貼りし、「がんば

る店員あこがれる」などの見出しを付けた。イラストやシールも使いカラフルな紙面5枚を完成させた。

福岡汐織さん(南中山小6年)は「写真や見出しの位置を考えるのが難しかったけれど、友達と仲良く作れて楽しかった」と話していた。

次回の「しんぶん寺子屋」は9月11日午後5時から。まわし読み新聞を作る。問い合わせは、みんなの新聞部 ☎0776(57)5122。(加藤栄吾)